

年 組 名前:

吉田のうどんおにぎり／織物生地 of 電車広告

地域の魅力 高校生PR

富士吉田市内の高校に通う生徒らが、同市を訪れる外国人観光客に地域の魅力を発信しようとして、一役買っている。人気を集めている志霊塔や本町通り以外の魅力を知ってもらうため、「吉田のうどん」を題材にしたおにぎりを大手コンビニと共同で開発。観光案内にアクセスできる、郡内織物の生地を活用した電車用の中つり広告も製作した。生徒らは「富士吉田の良さを余すところなく知ってもらいたい」と話している。

〈赤池悠〉



富士吉田 訪日客ニーズに対応

手がけるのは、富士北稜、富士学苑、吉田、富士河口湖4校の計約30人。市内のNPO法人「かえる舎」が企画する学校横断的な課外活動グループ「かえる組」のメンバーたちだ。メンバーらは昨年、外国人観光客向けにアンケートを実施。「昼食を市内で食べない」「滞在時間が短い」といった課題が浮き彫りになり、解決のためプロジェクトを始めた。「食べ歩きできる商品を開発する」「電車内で観光情報にアクセスできるようにする」を目的に据え、試行錯誤を重ねてきた。

吉田のうどんを題材にしたおにぎりは、昨年既に市内のスーパーと共同で開発していて、今年はゼンマイレパンと連携。吉田のうどんに欠かせない辛味調味料「すりだね」を中心にだし汁で味付けし、きんぴらごぼうや天かすを入れて名物を再現した。1個162円で、12日から県内全206店舗で販売する。

郡内織物の中つり広告は、QRコード2種類を生地にプリント。スマートフォンなどで読み取ると、市内の観光系2団体が設けている観光案内のウェブサイトにアクセスできる。富士山麓電気鉄道の協力を得て、

(2024年12月4日付 山梨日日新聞15面)

富士急行線の3両編成の普通車両1台を借り切り設置した。いずれも当面の間、販売、設置する予定。

中心となって取り組んできた、富士学苑高3年生の小俣南遥さんは「富士山以外にも良いところがある」と知ってもらえれば良い」と期待。富士北稜高3年生の安部井愛瑠奈さんは「サイトを参考に、街を歩きながら手軽に食べられる『吉田のうどん』の味を楽しんでほしい」と話していた。

問1

富士吉田市内の高校に通う生徒らが、外国人観光客に同市をPRするために、なにを行いましたか。2つ教えてください。

.....

.....

.....

.....

問2

なぜ、「問1の答え」にしたのか、理由を教えてください。

.....

.....